

令和５年度（令和４年度事業）
美深町まち・ひと・しごと創生総合戦略
評 価 報 告 書

令和４年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価（令和４年度事業）について、次のとおり報告する。

令和５年９月１日

美深町まち・ひと・しごと創生推進会議 会長 齊 藤 宏 行

1 評価の対象

まち・ひと・しごと創生総合戦略に搭載された具体的な施策のうち41の主な事業について評価した。

2 評価の方法

まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標1～4に分類される41の主な事務事業について、評価調書及び補足説明によって、3部会において担当する施策を4段階で評価した。

美深町まち・ひと・しごと創生推進会議 会長 齊藤 宏行、副会長 佐竹 仁 (◎は部会長 ○は副部会長)	
福祉教育部会	◎佐竹 仁 ○花井あゆみ 十亀 和己 細川 智義 工藤 裕美 池本 光弘 大堀 裕康 小林 一仙 田澤 満
産業経済部会	◎中西 忠幸 ○齊藤 雄太 菅野 勝義 向井 朋博 山下 朋子 山崎 義典 中林 秀文 後藤 裕幸
環境行財政部会	◎佐藤 智三 ○関下 英明 齊藤 宏行 清水 節子 市名 弘子 桜木 健一 竹田 哲 中江 勝規 吉田 直茂

3部会の評価施策数	
福祉教育部会	12事務事業(第3・4章)
産業経済部会	18事務事業(第2章)
環境行財政部会	11事務事業(第1・5章)
四段階評価	
A評価 期待どおりの成果が得られた	B評価 一応の成果が見られた
C評価 あまり効果が見られない	D評価 全く成果が見られない

3 評価の経過

次のとおり会議・部会を開催した。

- ・ 8月21日 第1回まち・ひと・しごと創生推進会議
- ・ 8月21日 第1回各部会開催
- ・ 8月25日 第2回福祉教育部会
- ・ 9月 1日 第2回まち・ひと・しごと創生推進会議・各部会開催

4 評価の結果

41事業のうち、A評価が27事業[65.9%]、B評価が14事業[34.1%]となっており、各事業は順調に実施されていると評価する。しかし、人口減少対策としては、長期的な視点で効果を見る必要があり、目標達成に向けて、今後も継続した取組が必要である。事務事業ごとの評価結果は次項のとおり。

基本目標ごとに区分した評価結果の概要については、次のとおり。

令和４年度まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価一覧

項	第 1 章		推進会議 評 価	担当 グループ	担当による事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	
	事業No.	事 務・事 業 名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題			
1	1-2-1	113	地域公共交通運行事業	A	生活環境	A	B	C	A	B	A	現状維持
2	1-3-2	121	公営住宅長寿命化事業	B	水道住宅	B	B	B	B	B	B	現状維持
	第 2 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	
	事業No.	事 務・事 業 名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対効果	実施 方法	次年度 課題			
3	2-1-1	201	新規就農者等補助事業	A	農業	A	A	A	A	B	A	現状維持
4	2-1-1	203	地域担い手育成事業	A	農業	A	B	A	A	B	A	現状維持
5	2-1-1	205	農業後継者育成事業	B	農委	A	A	B	B	B	B	現状維持
6	2-1-3	211	農業雇用確保対策事業	A	農業	A	B	A	A	B	A	現状維持
7	2-1-4	220	がんばる美深農業支援事業	A	農業	A	A	A	A	B	A	現状維持
8	2-1-4	221	農畜産物等販路拡大PR事業	B	農業	B	A	B	A	B	B	現状維持
9	2-2-1	225	町有林造林保育事業	A	建設林務	A	A	B	B	B	A	現状維持
10	2-2-1	226	民有林造林保育事業	A	建設林務	A	A	A	B	B	A	現状維持
11	2-2-2	229	林業経営強化事業	A	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持
12	2-2-2	230	森林認証推進事業	A	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持
13	2-3-1	232	商工業活動支援事業	A	企画	B	A	A	A	B	A	現状維持
14	2-3-2	235	快適な住まいづくりと商工業振興事業	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
15	2-3-3	237	商工業担い手支援事業	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
16	2-4-1	238	観光推進体制支援事業	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
17	2-4-2	239	観光PRとイベント支援事業	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
18	2-4-2	240	魅力ある観光地づくり推進事業	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
19	2-5-1 _	242	チョウザメ振興事業	B	企画	B	C	B	B	C	B	規模拡大
20	2-6-1	243	就労活動支援事業	B	企画	B	C	B	A	B	B	現状維持
	第 3 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	
	事業No.	事 務・事 業 名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題			
21	3-2-1	303	山村留学推進事業	A	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持
22	3-2-1	304	青少年教育交流事業	B	教育	C	C	B	B	B	B	現状維持
23	3-2-6	314	高等学校教育推進事業	A	教育	A	B	B	A	B	A	現状維持
24	3-3-4	319	青少年健全育成事業	A	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持
25	3-5-1	322	冬季スポーツ事業の推進	B	教育	C	B	B	C	C	C	見直し
26	3-5-1	323	スポーツ振興事業	A	教育	B	A	A	A	B	B	現状維持
27	3-5-1	325	こどもスポーツ未来基金事業	A	教育	A	A	A	A	B	A	現状維持
項	第 4 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	
	事業No.	事 務・事 業 名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題			
28	4-1-2	402	各種健診・予防保健事業	B	保健福祉	B	B	A	B	B	B	現状維持
29	4-1-3	403	地域医療・福祉体制整備事業	B	保健福祉	A	A	A	A	B	A	規模拡大
30	4-2-1	405	母子保健対策事業	A	保健福祉	A	A	A	A	B	A	規模拡大
31	4-2-2	406	子どもを産み育てるための経済支援	A	保健福祉	A	A	A	A	B	A	見直し
32	4-3-2	416	高齢者等生活支援事業	A	保健福祉	A	A	B	A	B	B	現状維持
項	第 5 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	
	事業No.	事 務・事 業 名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対効果	実施 方法	次年度 課題			
33	5-1-1	501	地域人材育成事業	B	企画	C	C	B	B	B	B	現状維持
34	5-1-1	502	新しいまちづくりサービスの推進	A	企画	A	A	A	A	A	A	現状維持
35	5-1-2	503	自治会活動推進事業	B	企画	A	B	A	A	B	B	現状維持
36	5-1-2	504	地域活動活性化促進事業	A	企画	A	A	A	A	A	A	現状維持
37	5-2-1	506	移住定住推進対策事業	B	企画	A	B	B	B	B	B	現状維持
38	5-2-1	507	地域支援対策事業	A	企画	A	B	A	A	A	A	現状維持
39	5-2-2	508	地域交流活動推進事業	B	企画	C	C	B	B	B	C	現状維持
40	5-2-4	510	ふるさと交流事業	B	企画	C	C	B	B	B	B	現状維持
41	5-2-5	511	産学官連携活性化事業	A	企画	B	B	A	A	B	A	現状維持

基本目標 1	国の基本目標① 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする まちの特性をいかした産業を振興し、働く場をつくる	
(1) 農業の振興 ●担い手の育成確保 担い手対策は、最も重要な課題であり、新規就農者や後継者が安心して就農し、・経営を持続できるよう、育成と経営安定化のための事業を継続する必要がある。 ●農地の維持と経営基盤の安定強化 持続ある美深農業の実現のため、『がんばる美深農業！』支援事業での農業者ニーズに即した各種支援や農畜産物販路拡大PR事業による販路販売や地産地消の推進など、積極的に取り組んでいると評価する。 (2) 林業の振興 ●森林の保全と経営基盤の安定強化 持続可能な森林経営のためには、造林・保育、主伐のサイクルは必要不可欠であり、計画的な施業を実施する必要がある。 「北海道立北の森づくり専門学院」による担い手の育成など、林業経営を強化する事業にも取り組んでおり、各種事業の支援を引き続き行う必要がある。 (3) 商工業の振興 ●経営基盤の安定強化 商工会が実施している各種事業は、商工業の振興に大きく寄与している。プレミアム商品券の発行による消費喚起や事業者への新型コロナウイルス感染症防止対策など、消費拡大と商店街の活性化が図られていることから高く評価する。 ●企業誘致・創業支援の推進 企業誘致については簡単に進むものではないが、アイデアや工夫により事業が進展するよう取組を継続されたい。 担い手確保支援は商工業の持続には重要な事業であり、商工業担い手支援事業による新規開業や人材育成への支援などは高く評価できる。 (4) 新たな産業の振興 ●チョウザメ産業の確立 北海道大学やソフトバンクなどとも連携するなど、チョウザメ飼育技術は着実に向上している。引き続き産業化を目指し安定生産に取り組まれたい。 (5) 就労対策・勤労者福祉の充実 ●雇用の安定と確保 就業訓練支援によるスキルアップや高校生への就職説明会の実施は、地元企業の担い手を育成・確保する上で重要な就業対策であり、継続して取り組む必要がある。		
数値目標	基準値	目標値
町内企業就労者数の維持	1, 584人 【平成28年業種別従業者数】	1, 584人 (現状維持)

基本目標 2	国の基本目標② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる 美しい自然と豊かな地域資源をいかし、新しい人の流れをつくる	
(1) 関係人口の創出 ●移住定住の促進 移住は簡単に決められるものではないが、移住体験住宅の利用を通じて美深町での生活と魅力を感じてもらい、移住の可能性を広げていく必要がある。 地域おこし協力隊は、新たな目線で地域を見ることができ、有効な事業であるが、定住にも繋がるような工夫も必要。募集内容や方法なども検討しながら積極的に誘致を進められたい。 ●山村留学の推進 少人数の特性を生かした教育が展開されるとともに、山村留学の受入れ体制も整っていることから高く評価する。 ●地域間交流・ふるさと会活動の推進 コロナ禍により交流事業は、中止・規模縮小を余儀なくされているが、これまで築いてきた繋がりとは町にとって財産であり、引き続き交流活動を継続できるよう進められたい。 (2) 観光の振興 ●魅力ある観光の推進 多種多様な観光スタイルが求められる時代となっていることから、本町の特性を活かしながら美深町の良さを求めて来る観光客の獲得に努める必要がある。		
数値目標	基準値	目標値
観光客年間入込数の増加	43.7万人 【2020年度】	45.0万人 (3%増加)

基本目標 3	国の基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
(1) 住宅の整備 ●良好な住環境の整備推進 快適な住まいづくりと商工業振興事業は、住環境や商工業の環境が整備されるとともに、建設業の振興・雇用の安定化など、地域経済の活性化が図られている事業であり高く評価できる。 ●公営住宅等の適切な維持・管理の推進 公営住宅は、計画的に建替えや改修が行われ、適正な管理戸数の維持が進められている。入居率の向上や適正な維持管理に努められたい。 (2) 学校教育の充実 ●高等学校教育の充実 美深高校は進学率の向上も図られており、各種取組の成果が出ていると評価する。高等養護学校は出生者への木工製品の配布など、地域との繋がりが深められてるとともに、生徒の達成感が自信になり、社会的自立を促すことにも寄与している。 (3) 社会教育の充実 ●青少年健全育成 コロナ禍で制限される中で「NPOびふかスポーツクラブ」と連携して事業を実施できており、子どもたちの育成に寄与していると評価できる。 (4) 子育て環境の充実 ●子育て環境の整備 母子保健事業、育児サークルともに実施できており、安心して子育てできる環境づくりに寄与していると高く評価する。 ●子どもを産み育てるための経済的支援 不妊治療費助成については、利用実績もあり、事業の効果もあることから高く評価する。安心して治療が受けられるように支援を継続していく必要がある。		
数値目標	基準値	目標値
合計特殊出生率の向上	1. 25人 【2020 年度】	1. 66人 (人口ビジョン目標値)

基本目標 4	国の基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる 安心して暮らせる魅力的な地域をつくる	
(1) 道路・交通網等の整備 ●公共交通の確保 フレンドバスや仁宇布線デマンドバスなど、暮らしに必要な住民の足として定着してきている。多様なニーズを把握しながら必要な公共交通サービスの継続が求められる。 (2) 健康づくり・医療の充実 ●病気の予防と早期発見の推進 各種健診・検診については、受診率が向上するよう、町民の健康意識の向上に向けた取組が必要である。 ●地域医療の確保 安定的な医療サービスの提供が図られるよう修学資金の制度拡充など人材確保対策を進める必要がある。 (3) 高齢者支援の充実 ●地域包括ケアシステムの充実 高齢者の在宅生活を維持する上で、外出支援や除雪サービスは重要なサービスであり高く評価する。事業を持続するため、人材の確保に向けた取組を進める必要がある。 (4) スポーツ活動の推進 ●スポーツによるまちづくりの推進 町民の高齢化、人口減少が進み、従前通りのスポーツイベントの開催は難しくなっているが、多くの町民がスポーツに親しめるよう工夫する必要がある。冬季スポーツについては、エアリアル以外の協議も視野に入れ、推進していく必要がある。 こどもスポーツ未来基金事業については、多くの利用がされており、子どもたちの健全な育成に寄与していると高く評価する。 (5) 住民参画のまちづくりの推進 ●住民参画の促進 コロナ禍により人材育成研修支援事業の活用はなかったが、まちづくりを進めるためには、人材育成は大変重要であり今後も継続していく必要がある。 買い物支援サービスは、登録者や利用者も増えていることから高齢者の生活に必要なサービスとして定着してきていると評価できる。 ●コミュニティ活動の推進 自治会による自主的な活動は地域づくりに欠かせないものである。高齢化や人口減少により会員や役員の担い手が減少している自治会もあることから、地域担当員の活用など、地域の声を聞きながら必要な支援に繋げていただきたい。 美深町活性化促進事業は、住民の自主的な活動が実施され、まちの活性化に繋がっていると評価する。今後も、住民の積極的な活動を支援し、地域の活性化・特産品開発・新たなイベントの創出などが行われるよう事業を推進されたい。		
数値目標	基準値	目標値
地域計画策定自治会数	14自治会 【2020年度】	17自治会 (全自治会)

未来へ続く
笑顔あふれるまち

